

- 〈学習目標〉
- ① おむつ交換の援助の方法がわかる
  - ② 患者の状態に合わせたおむつ交換が実施できる

事例1)

秋月准一さん 90歳代 男性 ▶KOYUJUN TOWN 参照

70歳代で脳梗塞や誤嚥性肺炎等を繰り返し、現在要介護5。  
両上下肢に軽度拘縮あり。日中はベッドか車椅子で過ごす。  
発語もなくコミュニケーションをとることは困難な状態である。

ワーク① 事例の下線部分の意味を調べよう

▶ 要介護5とはどのような状態でしょうか

ワーク② おむつ交換の方法を手順ノートにまとめましょう(一般的な手順)

演習③ おむつ交換を実施しよう

実施してみて考えたこと

シミュレーション④ おむつ交換を実施しよう

シミュレーションを通して考えたこと



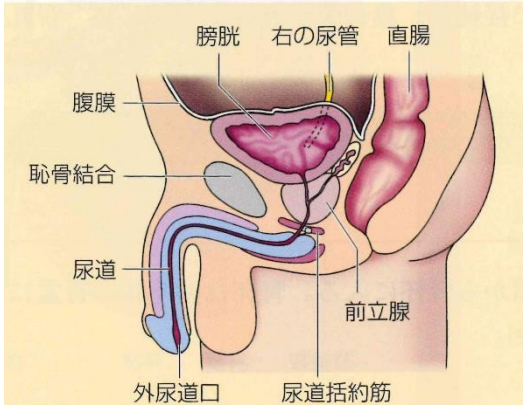
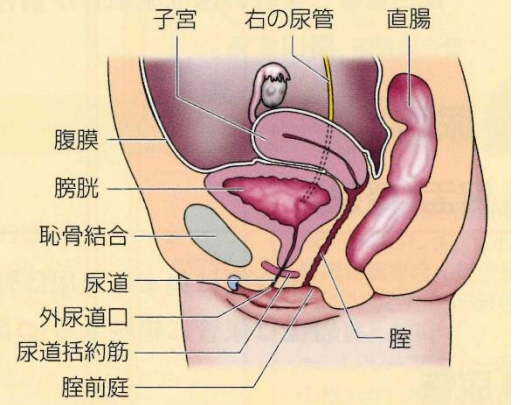
5日後…准一さんは抗生剤の点滴を続けていますが、熱が持続しています。  
CRP 値も 5.6mg/dlに上昇していることから、尿検査が必要となりました。  
医師の指示で『導尿』の指示がでました。

## 導尿について学習しよう

- ▷ 導尿とは…尿道口から膀胱内にカテーテルを挿入し、貯留している尿を人為的に体外へ排出させる処置のことをいう。

### 導尿に必要な人体のしくみと働きを復習しよう★

#### 尿道

男性	女性
	
<p>尿道の長さ: ( 16~18 )cm  <b>特 徴</b>: ( 前立腺 )が尿道を取り囲む肥大することで( 排尿障害 )を起こす</p>	<p>尿道の長さ: ( 3~4 )cm  <b>特 徴</b>: 尿道が短く、肛門とも近いため( 大腸菌 )による( 上行性感染 )で尿路感染をおこしやすい</p>

### ▷ 導尿の種類と目的 P582~586

- ・ ( 一時的導尿 ) …必要なたびごとにカテーテルを挿入して行う導尿

- ①尿閉などの ( 排尿障害 ) に対する処置
- ②無菌尿の採取や残尿測定などの検査
- ③下腹部診察などの前処置

- ・ ( 持続的導尿 ) …膀胱内にカテーテルを留置する導尿

- ①尿閉、残尿などのために、( 頻回の一時的導尿が必要 ) な場合の処置
- ②泌尿器科手術後の ( 創部の安静 ) と汚染防止
- ③術中・術後や重症な患者の ( 水分出納管理 )

▷ 導尿で大切なこと…( 尿路感染症の予防 )・( 粘膜の損傷予防 )・( 羞恥心や緊張感への配慮 )

### ①尿路感染症の予防

原因	予防策
不潔な物品の使用 不潔な操作	滅菌物の使用と無菌操作の徹底
尿道口の不衛生	尿道口周囲を清潔に保つ

### ②粘膜の損傷予防

原因	予防策
カテーテルのサイズや長さによるもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カテーテルのサイズ …( 12～18 )Fr カテーテルが太いほど苦痛が強く ( 尿道粘膜 )を損傷する危険性が高くなる 可能な限り細いサイズを選択する</li> <li>・カテーテルの長さ …男性( 16～22 )cm 女性( 4～6 )cm</li> </ul>
カテーテルと粘膜の摩擦によるもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・潤滑剤の使用 …( 水溶性潤滑剤 )を塗布する。 カテーテルの挿入を容易にし尿道損傷防止、 患者の疼痛緩和になる ⑨油性の潤滑剤(ワセリン・オリーブ油)⇒( 膀胱炎 ) キシロカインゼリー⇒( ショック )を起こす可能性</li> <li>・口呼吸 …カテーテル( 挿入時 )口呼吸を促す 口呼吸を行うことで( 腹圧 )が低下し、尿道括約筋や腹筋が ( 弛緩 )するため、カテーテル挿入が容易になる</li> </ul>

### ③羞恥心や緊張感への配慮

羞恥心やプライバシーへの配慮	( 露出部位 )が多いと、羞恥心が増すだけでなく、寒さを感じ ( 尿道括約筋 )が収縮する。
----------------	---